

山村に生きる

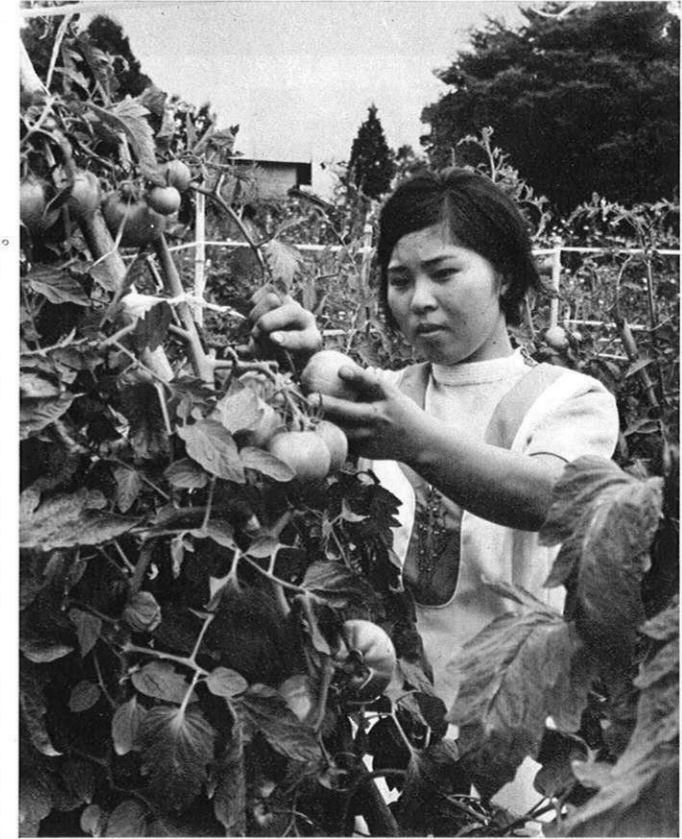
阿蘇郡高森町野尻

野尻由美さん

秋の日差しを受けてトマトが光る。はちきれんようなトマトの重みを支える野尻さん(19歳)のてのひらに、収穫のよろこびが伝わった。

「わたししか力いっぱい育てたトマトです。彼女が独力でひらいている10アールのトマト園が背景に広がる。夏場は、ほかにキャベツ、人参、大根も栽培、従って出荷期は猫の手でも借りたい。最近になって契約栽培にも踏みきった。冬から春にかけては20アールの杉苗床の手入れや出荷がひかえている。まさしく四季を通じて青春の全力投球だ。

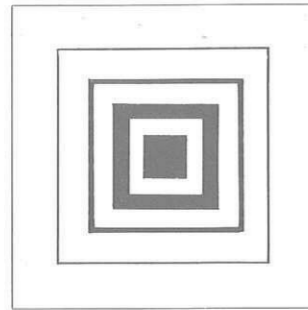
41年経営伝習農場卒。かつて「NHK青年の主張」で発言した「農村に生きる」のモットーが、いまこそ脈打っているという感じ。6人きょうたいの5番目。父母と兄の4人暮らしだか、母代りに家事万端をてきぱきとまわすかわら、4Hクラブや青年団活動の中でユーモラスに、闊達にふるまう活動派の「お嬢さん」でもある。盆、正月に帰省する同窓生と歓談するのも楽しみの一つだが、「それぞれの生活の中で、自分の可能性を確かめようとする姿は美しい、と感じることはあっても決して淋しいとは思わない」と言いきる。この夏、九州青年祭に参加「農山村で斗っている仲間の人たちと、共通の悩みや信念を語り合せて大きな感銘を受けました」野尻さんの表情は、もぎたてのトマトのように新鮮で、明るかった。



— 友だちといっしょに杉苗の生育状況をみる野尻さん(中央) —



手をつなげ
大きな輪になれ
助けあい



〈募金運動〉

10月1日→12月31日

熊本県共同募金会

赤い羽根共同募金にご協力を！